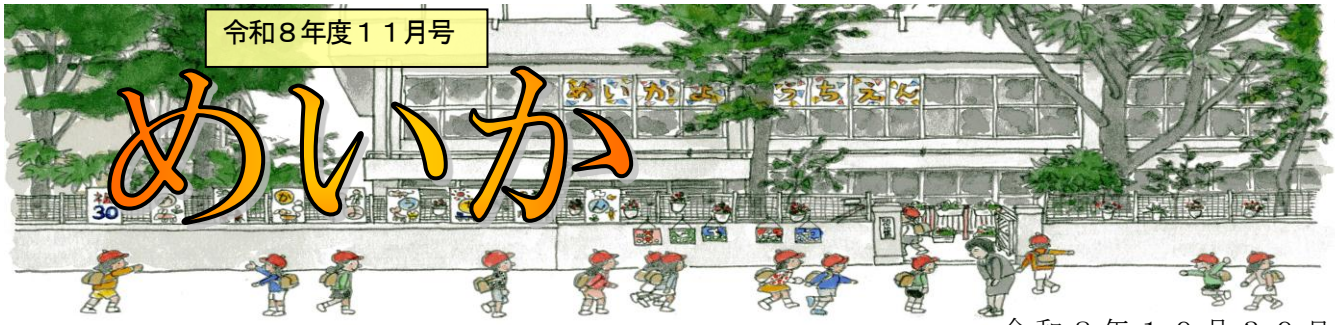

令和８年１０月３０日
文京区立明化幼稚園

運動会に向けてのプロセスの中で育つ、たくましい心と体

副園長　山下　美幸

ようやく秋らしい気候となり、近隣の木々の落葉や紅葉も見られるようになってきました。10月31日は運動会です。創立６０周年を控えた今年の運動会は、園の60歳の節目をみんなでお祝いする特別な運動会です。

運動会に向けた取り組みの中で、子どもたちはたくさんの体験を重ねてきました。年少組は初めての運動会を迎える子も多く、先生や友達と一緒に体を動かすことを楽しんでいます。年中組は、お家の人に見てもらうことを楽しみにしたり、かけっこで速く走りたいという思いをもったりしています。年長組は学年混合チームで行うリレーで「勝ちたい」という気持ちを強くもち、繰り返し走ったり、勝ったり負けたりする中で、悔しい思いをも経験してきました。綱取りでは、「どうしたら取れるか」と学級の友達と一丸となって、チームで勝つための作戦を立て、力を合わせて競い合う楽しさを味わっています。また、年長組は、司会や体操係など、様々な係活動も担っています。先日、司会練習を一緒にしたときに、「みんなが前よりも大きな声で言えるようになっている！」「みんなが上手に司会の言葉が言えている」と年長児から感想が出ていました。このように、自分の頑張りも含めて、友達の頑張りにも目を向けてよさを言葉に出したり、頑張りを認めたりすることからも、成長を感じる機会となりました。当日に至るまでのプロセスの中にこそ、育ちの本質があると改めて感じています。

秋は、これまでの経験が実を結び、一人ひとりの育ちが見えてくる時期でもあります。できることが増えた喜びだけでなく、うまくいかなくて悔しがる気持ちや、友達とぶつかりながら折り合いをつける経験も、大切な成長の姿です。勝ちたい気持ちをもち、悔しさを味わい、仲間と考え、もう一度挑戦する。頑張りを互いにたたえ、切磋琢磨していく、こうした経験を重ねる中で、心と体のたくましさが育っていくと感じています。

工事中だった園庭も完成し、11月上旬には遊具が搬入されます。新しい園庭でも、子どもたちが思い切り体を動かし、やってみたい気持ちや挑戦していく姿を楽しみにしています。これからも、一人ひとりの育ちのプロセスを丁寧に見取りながら、その子なりの歩みの中で経験が積み重なっていくようにしてまいります。